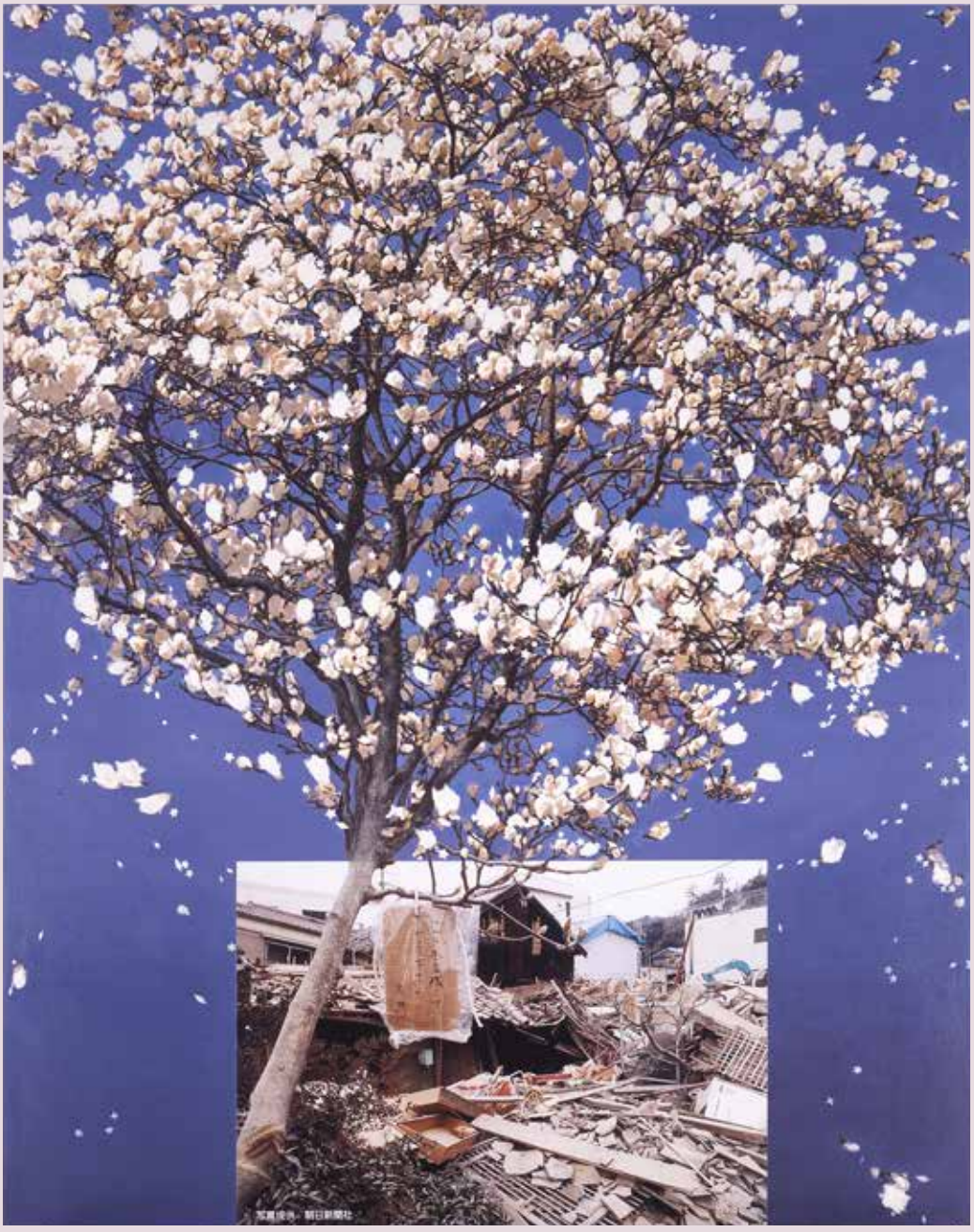
プレスリリース日：2024年10月10日
更新日：2024年12月20日

Collection Exhibition III

コレクション展 III

阪神・淡路大震災30年
「あれから30年―県美コレクションの半世紀」



福田美蘭《淡路島北淡町のハクモクレン》2004年

第1部

あれから30年
阪神・淡路大震災と兵庫県立美術館
〈常設展示室1、4〉

よみがえった作品
―彫刻作品の修復について
〈常設展示室5〉

第2部

兵庫県立美術館の半世紀

1.
県美コレクション収集の軌跡
―6つの視点から
〈常設展示室2、3、6〉

第1章
近代の光―黎明期の洋画と版画
第2章
海辺の光景
―阪神間モダニズムと1930年代の洋画
第3章
流動するイメージ
第4章
周縁の終焉―サブカルと前衛
第5章
線のトリセツ―日本美術のなかの線
第6章
心の内奥へ―南画と表現主義

2.
小磯良平―収集の半世紀
〈小磯良平記念室〉
金山平三―収集の半世紀
〈金山平三記念室〉

2025年1月7日［火］–4月6日［日］ ※会期中、一部作品を展示替えします

休館日：月曜日［ただし1月13日［月・祝］、2月24日［月・振休］は開館、1月14日［火］、2月25日［火］は休館］
開館時間：午前10時–午後6時（入場は閉館30分前まで）｜主催：兵庫県立美術館｜協賛：公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）、兵庫県立美術館「芸術の館友の会」
観覧料：コレクション展III全室共通 ‖ **一般：500**（400）〔300〕**円**｜**大学生：400**（300）〔200〕**円**｜**高校生以下：無料**｜**70歳以上：250**（200）〔150〕**円**
障害者手帳等をお持ちの方（一般）：100（100）〔50〕**円**｜**障害者手帳等をお持ちの方**（大学生）：100（50）〔50〕**円**
※（ ）内は20名以上の団体料金、〔 〕内は特別展とのセット料金｜※一般以外の料金には証明できるもののご提示が必要です｜※障害者手帳等をお持ちの方1名につき介助の方1名は無料
［コレクション展無料の日］2025年1月12日［日］、1月17日［日］、2月9日［日］、3月9日［日］
◎毎月第2日曜日（自由に話せる観覧日）と1月17日（ひょうご安全の日）は公益財団法人伊藤文化財団の協賛により無料

兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART
［神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1｜078-262-1011（代表）］

コレクション展III
阪神・淡路大震災30年「あれから30年－県美コレクションの半世紀」

2025年1月7日［火］ー4月6日［日］
兵庫県立美術館 常設展示室（1階、2階）※会期中、一部作品を展示替えします

1995 年 1 月 17 日早朝に発生した阪神・淡路大震災は神戸を中心とした地域一帯に甚大な被害を及ぼしました。兵庫県立近代美術館が開館して 25 年、四半世紀を迎えようとする時期でしたが、建物だけでなく展示中の作品が落下、転倒、破損するなど美術品も大きな被害を受けました。あれから 30 年―その間県立近代美術館は 2002 年に現在の地に移転、兵庫県立美術館と名称を変え文化の復興のシンボルとして、展覧会を中心にさまざまな事業をおこなってきました。

当館では震災以降、5年、10年、20年という節目の年にコレクション展を中心に震災に関連する企画を開催しました。30 年目を迎える本年は、特別展、チャンネル展と連動し、美術館全体で震災 30 年を考える展示を行います。加えて、県立近代美術館が開館して 55 年＝約半世紀となることから、当館のコレクションを改めて振り返る機会とします。

展示構成

第1部　あれから30年　阪神・淡路大震災と兵庫県立美術館
［常設展示室1・4］
吉見敏治、堀尾貞治、西田眞人、福田美蘭、
棚田康司、束芋らの作品を展示
よみがえった作品－彫刻作品の修復について
［常設展示室5］
ジャン・アルプ、ヘンリー・ムーア、ルイーズ・ネヴェルスン、北村正信らの作品を展示

第2部　兵庫県立美術館の半世紀
1．県美コレクション収集の軌跡－6つの視点から
［常設展示室2・3・6］
第1章　近代の光－黎明期の洋画と版画
第2章　海辺の光景
　　―阪神間モダニズムと1930年代の洋画
第3章　流動するイメージ
第4章　周縁の終焉―サブカルと前衛
第5章　線のトリセツ―日本美術のなかの線
第6章　心の内奥へ―南画と表現主義
2．小磯良平―収集の半世紀　［小磯良平記念室］
金山平三―収集の半世紀　［金山平三記念室］

見どころ

□阪神・淡路大震災 30 年、県立美術館開館通算 55 年の企画として、半世紀をこえた収集活動を特別展と連動して「30 年」の視点で見直します。2 部構成とし、震災以降収蔵された、震災をテーマとする作品を展示する第 1 部、1970 年から約半世紀にわたり収集されてきた当館コレクションの多彩な様相を第 2 部で紹介します。

□ 第 1 部では、同時期開催の特別展「1995⇄2025 30 年目のわたしたち」と連動し、震災をテーマとする所蔵品を中心に構成します。あわせて美術品レスキューの取り組みや当時被災した彫刻作品の修復について紹介します。

□4 階「風のデッキ」に新たに設置した青木野枝作品に関連する版画、資料等も紹介します（常設展示室 5）。

□ 第 2 部では、約半世紀にわたり収集した近現代美術のコレクションを 6 つの視点から眺め、日本・近現代・美術、そして当館コレクションの特質を探ります。

関連行事

□学芸員によるギャラリートーク
1月18日［土］、2月22日［土］、3月15日［土］、4月5日［土］　各日11:00 - 11:30（受付開始15分前より）
定員20名、受付場所：1 階改札付近、当日先着順、参加無料（要観覧券）

□ゆっくり解説会 in Winter（手話通訳・要約筆記付き解説会）
2 月 9 日［日］　13:30 - 14:30　レクチャールーム（定員60 名）
当日先着順、参加無料　※コレクション展無料日

□ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー
会期中の土曜・日曜日　各日13:00 - 13:30
当日先着順、参加無料（要観覧券）

□こどものイベント
3 月 22 日［土］　※詳細は当館 Web サイトにてお知らせします

コレクション展III 基本情報

会　　期：2025年1月7日［火］ー4月6日［日］
開館時間：午前10時－午後6時（入場は閉館30分前まで）
休 館 日：月曜日、1月14日［火］、2月25日［火］
※ただし、1月13日［月・祝］、2月24日［月・振休］開館

観覧料

コレクション展III 全室共通		当 日	団 体 (20名以上)	特別展とのセット料金
一　般		500円	400円	300円
大学生		400円	300円	200円
高校生以下		無 料	無 料	無 料
〔その他割引適用料金〕		当 日	団 体 (20名以上)	特別展とのセット料金
70歳以上		250円	200円	150円
障害者手帳等	一般	100円	100円	50円
をお持ちの方	大学生	100円	50円	50円

※一般以外の料金には、証明できるもののご提示が必要です
※団体(20名以上)でご鑑賞いただく場合は事前のご連絡をお願いします
※障害者手帳等をお持ちの方1名につき介助の方1名は無料

コレクション展「無料」観覧日

◆毎月第二日曜日と1月17日〔金〕は
公益財団法人伊藤文化財団の協賛により無料でご覧いただけます。

1月12日［日］第2日曜日、自由に話せる観覧日
1月17日［金］ひょうご安全の日
2月9日［日］第2日曜日、自由に話せる観覧日
3月9日［日］第2日曜日、自由に話せる観覧日

同時期開催の特別展

□1995⇄2025　30年目のわたしたち
12月21日［土］-2025年3月9日［日］
□注目作家紹介プログラム　チャンネル15
森山未來、梅田哲也《解（ほぐれ）》
12月21日［土］-2025年3月9日［日］
※この期間中の特定の日時のみ公開予定（要事前申込）
詳しい予約開始日、実施日程、申込方法等は、追って本展サイトにてお知らせします。
□パウル・クレー展　創造をめぐる星座
2025年3月29日［土］-5月25日［日］

横尾忠則現代美術館で同時期開催の展覧会

□横尾忠則の人生スゴロク展
2025年1月17日［金］-5月6日［火・祝］

同時期開催のイベント

□HART TALK 館長といっしょ！ Vol.15
「美術館の保存と修復ー文化財レスキューの30年」（仮）
2月15日［土］14:00～15:30（仮）
ゲスト：伊藤由美氏（神奈川県立近代美術館 研究員）
会場　：兵庫県立美術館 レクチャールーム
参加　：先着80名、無料（要コレクション展観覧券）

交通案内

・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から徒歩約8分
・JR神戸線灘駅南口から徒歩約10分
・阪急王子公園駅西口から南徒歩約20分
・JR三ノ宮駅から神戸市バス（29・101系統）にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）

お問い合わせ
兵庫県立美術館　広報担当 ： 岩本・早栗・成松
TEL▶078-262-0905（直通）　FAX▶078-262-0903　Email▶press@artm.pref.hyogo.jp

「コレクション展Ⅲ」広報画像申込書

e-mail：press@artm.pref.hyogo.jp　FAX：078-262-0903　兵庫県立美術館 営業･広報担当宛

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、媒体情報をご記入の上、本紙を e-mail または FAX にてお送りください。
申込確認に数日かかることがございます。あらかじめご了承ください。

☐ コレクション展Ⅲポスター

1

☐ 福田美蘭《淡路島北淡町のハクモクレン》2004年　アクリル・カラー写真・板

2

☐ 西田眞人《瓦礫の街》1996年　岩絵具・紙

3

貴媒体の情報をご記入ください

☐媒体名（番組･雑誌名等）：

☐媒体種：新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・WEB
その他（　　）

☐掲載･放送予定日：

☐参考 URL

☐原稿確認予定日：

※WEB掲載の場合､いずれかに○をつけてください
コピーガード対応　　可　・　不可

申請者の情報をご記入ください

☐貴社名：

☐所在地：　〒

☐ご担当者名：

☐メールアドレス：

☐電話番号：

読者･視聴者プレゼント用招待券：　　組　名分を希望
※最大5組10名まで。本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります

【画像使用に際しての注意事項】

○「作家名」「作品名」「制作年」「所蔵先」などを明記してください（ポスター画像の場合は不要）
○作品画像の加工（着色､トリミング､文字載せなど）はできません
○基本情報、画像使用の確認のため､ゲラ･原稿の段階で「営業･広報担当」までお送りくださいますようお願いいたします
○掲載媒体を1～2部､もしくはURL、同録（DVD、CD）を「営業･広報担当」宛にお送りください
○画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます（会期終了まで）
○再放送、転載など二次使用をされる場合には、改めて申請願います